

津山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国際文化論	
科目基礎情報							
科目番号	0015			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	情報工学科			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	1		
教科書/教材	「プライバシーという権利」 宮下紘 岩波書店						
担当教員	大田肇 (一般) ,江原 由美子						
到達目標							
学習目的：社会科学的な思考を学ぶことを通じて教養を深め、社会を見る視野をひろげること。 到達目標：プライバシーとコミュニケーションの関係について歴史的・比較法的に理解できる。							
ルーブリック							
	優	良	可	不可			
評価項目1	プライバシーとコミュニケーションの関係について歴史的・比較法的に理解できる。	プライバシーとコミュニケーションの関係について具体的に理解できる。	プライバシーとコミュニケーションの関係について基本的に理解できる。	プライバシーとコミュニケーションの関係について基本的に理解できない。			
評価項目2	指示に十分に合ったレポートを提出すること	指示にある程度合ったレポートを提出すること	指示に最低限合ったレポートを提出すること	指示に従ったレポートを提出しないこと			
評価項目3	なし	なし	なし	なし			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：専門 学習の分野：国際コミュニケーション 基礎となる学問分野：憲法学・哲学・歴史学 学習教育目標との関連：本科目は総合理工学科学習教育目標「④教養豊かな実践的人間力の養成」，「⑤グローバルな視点と社会性の養成」，「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 授業の概要：この授業においては，コミュニケーションに関わる問題をとりあげ、その多面的な把握をめざす。						
授業の進め方・方法	授業の方法：人数等に応じて、講義・演習の形式を柔軟に用いる。 成績評価方法：原則として1回の試験（80％）およびレポート（20％）で評価する。再試験は実施しない。						
注意点	履修上の注意：本講義では，授業時間外における学生自身による準備が必要となることに留意されたい。本科目を選択した者は，学年の課程修了のために履修（欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下）が必須である。また，本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて，1単位あたり45時間の学修が必要である。授業時間外の学修については，担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：授業において，学習内容すべてを網羅することは不可能なので，図書館の利用などによる主体的学習が望まれる。事前に行う準備学習として，その時点までの講義内容と疑問点の整理をしておくこと。 基礎科目：世界史（1年），倫理（1），日本史（2），政治経済（2），日本社会論（4） 関連科目：社会科学概論（専2） 受講上のアドバイス：遅刻に対するペナルティは特にもうけないが，受講者の良識を期待する。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
履修選択							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		授業の概要についての理解		
		2週	講義／演習		コミュニケーションに関わる諸問題についての基礎的な理解を得ること		
		3週	講義／演習		コミュニケーションに関わる諸問題についての基礎的な理解を得ること		
		4週	講義／演習		コミュニケーションに関わる諸問題についての基礎的な理解を得ること		
		5週	講義／演習		コミュニケーションに関わる諸問題についての理解を深めること		

		6週	講義／演習	コミュニケーションに関わる諸問題についての理解を深めること
		7週	講義／演習	コミュニケーションに関わる諸問題についての理解を深めること
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	講義／演習	コミュニケーションに関わる諸問題についてのさらに発展的な理解を得ること
		10週	講義／演習	コミュニケーションに関わる諸問題についてのさらに発展的な理解を得ること
		11週	講義／演習	コミュニケーションに関わる諸問題についてのさらに発展的な理解を得ること
		12週	講義／演習	以上の内容の応用について学ぶこと
		13週	講義／演習	以上の内容の応用について学ぶこと
		14週	講義／演習	以上の内容の応用について学ぶこと
		15週	後期末試験	
		16週	講義／演習	試験内容等についての確認

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	10	0	70
専門的能力	20	0	0	0	10	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0